

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表 (平成31年2月6日)



法人名	株式会社 ウェルフェア	代表者	西村 昭徳	法人・ 事業所 の特徴	利用者一人ひとりの人権を尊重し、「のんびり」「一緒に」「楽しみながら」住み慣れた地域で利用者や家族が在宅生活の継続ができ負担や不安がないよう、居心地のいい状態・状況に合わせ職員間で話し合いの場を持ち、意思統一し体制を整え、本人の要望意見を取り入れ日々の暮らしから看取りまで、あらゆる範囲で家族・主治医・スタッフが一つのチームとなり対応させて頂いている。
事業所名	小規模多機能ホーム ふたみ	管理者	中村めぐみ		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	2人	1人	2人	人	人	1人	人	3人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	立場や役割の関係なく発信を行い業務に役立つ事ができるように話し合う機会を持ち、よりよい支援に繋がっていきます。	非常勤の職員や日勤帯だけの勤務の職員については日中の業務を中心に担い、業務改善について積極的な意見を出している。職員全体が躊躇せず意見を出し合い、常勤や非常勤などの関係なく意見を出し合える環境ができている。	支援に関する情報量がどれ程あるか？支援につなげていけるだけの量なのか？難しく思った。職員の事業所に対する評価も具体的に表現されており良かった。職員の経験の積み重ねや話し合いの場が増えてことによる結果だと思う。今後とも継続して実施してほしい。	誰かの案や意見に対して全員で考え、全員が協力をし、進めていく。また、困りごとやミスも同様に一人の責任ではなく全員で改善を図り、課題に取り組む。
B. 事業所のしつらえ・環境	施設内のことだけでなく周辺の情報や交通機関などの情報を発信し、より身近な存在・安心感などにつなげていけるように取り組んでいきます。	地域のコンビニや道の駅などに出かける機会を増やしていった。利用者様の気分転換や楽しみを作りたい、また、地元の人に知って頂く事は非常時などに強みになるということを目的にしました。観光客の方が施設の前を通ることが増えたため、日陰で一休み、雨宿りなどにも施設前を利用して頂くようにしました。誰にでも親しみのある施設を作っていきたいという思いはこれからも継続します。	事業所の環境はよく工夫して運営されていると感じられた。室内の展示は季節感がありいいと思った。利用者が居心地がいい空間になっているかどうかは分からない。施設にいる方は常に自由という考えで玄関に鍵をかけず開放してある所もあるが、ここはすぐ前に国道があり危険ということですので難しいところです。見守りをしっかりしていれば開放できるのではないかと。	玄関扉の開放は常に課題であるが、利用者様が社会や地域との関わりを持って生活し、自由に出入りができないが外出の機会を増やし、不自由なく開放的に暮らせる支援を行います。
C. 事業所と地域のかかわり	地域密着型の施設として、地域の高齢者が安心して暮らしているように、これからも地域に出向き顔が見え	近隣の方の利用に関しては、できる範囲でその方や家族様の生活スタイルを考慮した対応を行うようにしています。例えば送迎の時間などです。自宅での生活、家族との関わりを継続しながら、上手くサービスを利用して、地域の一員・家族の一	地域の行事やイベントには積極的に参加しているなど、地域の中に溶け込んだ事業所であると思われる。今後も地域行事への参加を地道に取り組むことが大切である。	事業所の近辺の資源をきちんと知る事。それを施設運営の強みにしたり、地域の住民の方々とのコミュニケーションにつなげたい。

	る関係づくりを行います。	員としての役割を維持できるように利用形態を考えます。		
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	近隣の地域の中での困りごとを抱えた方に対して、自分たちができる事で広報や活動を通じて貢献していきます。	今回の改善計画については、あまり進んでおらず、地域との関わりは「オレンジ care マイスター」を通じて継続しているものの、ではスタッフが全員理解し把握し、同意をしているかという点必ずしもそうではない。チームでもう一度計画に対する意識を持っていけるように取り組みたい。	天気の良い日、利用者の方と施設の職員が散歩をしている姿をよく見かけます。大変良い事だと思った。今後も続けてほしい。運営推進会議へも地域の代表が出席しており、地域の情報等をよく把握されていると思った。	近隣の地域の方々が今の生活のできる限り続けていけるように、オレンジ care マイスターの活動を続けながら、施設全体で地域貢献をしていきたい。
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域に根ざした施設として、小さい事でも目を向けて問題提起をし、地域の高齢者が安心して暮らせるお手伝いをする。そのために運営推進会議での意見や話し合ったことを活かしていきます。	施設の周辺は住宅地ではなく、住んでいる人と出会うことがない。そのため運営推進会議で様々な立場から意見や助言を頂く事で、地域の現状を教えて頂く機会となっている。ただ、職員においては運営推進会議でどのような話しをしているか、施設運営における重要性など把握していないことが現状。記録を参照にではなく、毎月のミーティングの中での報告を行う必要もある。	項目の内容が具体化されており、また、参加者全員の意見をよく聴いており良かった。今後とも継続してほしい。	自分達も施設と一緒に地域の一人であること認識して、施設運営に携わりたい。運営推進会議での助言や地域の情報を活かして地域の課題と取り組んでいきたい。
F. 事業所の防災・災害対策	災害については常にいろいろな方面で準備をし、防災意識を高めていくことと現在行っていることを継続しながら地域と助け合える関係を築いていく。	台風や豪雨、地震など大きな被害状況を見ると、この地域にもいつか訪れる災害を予測し、できるだけ研修会や地域のケア会議に参加することを行ってきた。いつかやるではなく常に防災意識を持って備えをし、地域の避難経路やどこに避難するかの予測を立てている所。	具体化されており良いと思う。事業所に対しての意見と言うより、この評価表を作った方に提案したい『災害時、事業所職員の誘導は良かったか』運営推進会議の参加者等が事業所の防災訓練に参加（見学）しており、大変良かった。今後とも改善できる所は改善し、継続して実施すべきと思った。	松下地区は川・海・橋・トンネルなど避難時はネックになる箇所が多い。地震・津波に襲われたら逃げ道はないため、情報の収集ととっさの判断や周知の仕方を訓練に取り入れていきたい。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 9 月 7 日 (19 : 30~22 : 00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 中村、北島、山本、三宅、浜地  
濱口、亀田、中野、大田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	5 人	0 人	0 人	10 人

前回の改善計画	最初の段階での受け入れ体制、関係づくりはできているため、次のステップとしてその方の生活暦について全員で理解を深めていけるような工夫と取組みをいます。
前回の改善計画に対する取組み結果	事前情報を伝える際に、一人一人の利用者様の利用に至った経緯やそれまでの暮らしぶりなどを時系列で伝えるようにしている。今は介護が必要な状況であるが、元気な頃はこういった仕事をして家庭での役割はどうだったのかなどを確認し合えるようにし、日々の支援へのヒントになることが見つかったりしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	9	1	0	0	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	7	0	0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	7	2	1	0	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	6	1	0	10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
事前情報を踏まえて、当面の支援について場面別・時系列で挙げる事ができる。そのことで、新規の方

への対応が不安なスタッフも分かりやすく、すぐに対応に入っていくことができる。

特に小規模多機能の利用者様は自宅とホームを行き来されるため、自宅での介護の状態や家族関係を知っておくことで、送迎時の家族様とのやりとりやコミュニケーションを良好にしていくことにつながっている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

指示がでている対応方法についてはできるが、変化があつたりすると途端に対応ができなくなる。

日頃から、起こりうる事態を予測しておくことと、少なくとも2通りくらいの対応策は考えておくべきである。最初の対応がクリアできたら「もし……が起きたら」を想定して、全員で話し合っておくことが必要。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

最初の段階で、今現在～何年後を予測して本人の望む暮らし方、家族の介護に対する考えかたを全員が共有することと、個々の支援が具体的に計画できるように取り組みます。

事-①

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 9 月 7 日 (19:30~22:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 中村、北島、山本、三宅、浜地  
濱口、亀田、中野、大田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	8人	0人	0人	10人

前回の改善計画	本人の目標 (ゴール) について、初期段階での気持ちを引き出すことと、個別のカンファレンスに今よりも時間を設けて、日々の生活の中から目標 (ゴール) を紐解いていけるようにします。
前回の改善計画に対する取組み結果	個別のカンファレンスは時間配分も難しく、会議中でできる件数は少ないため、緊急性のあるものは日々の申し送りや業務中に行うようにしてきた。会議では発言が少ないスタッフも業務中の方がよりリアルに物事をとらえられるため効果があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2	7	1	0	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	7	1	0	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	6	2	0	10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	4	4	2	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 個別支援への意識の向上ができつつある。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 施設ではできないことがあっても仕方がないと、あきらめてしまう傾向があるため、今できていることを継続しながら、さらに個別支援への意識や質の向上を目指していく。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 業務中に小カンファレンスを行い、リアルタイムでの課題を出し合っていきたい。スタッフ一人一人が利用者様のよりよい暮らしに向けて、意見を出し合える環境をつくりたい。
---------------	--

事一②

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年9月7日(19:30~22:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 中村、北島、山本、三宅、浜地  
濱口、亀田、中野、大田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	0人	0人	10人

**前回の改善計画**  
 (前回の改善点について) スタッフ間の思いの違いについて、もう少し統一できるように、また、違いはあっても利用者様の気持ちを代弁することができるような支援ができるように、あと1年継続していきます。前回よりも個別のカンファレンスや日々の時間を有効に使えるようにし、スタッフ間での確認が行えるようにする。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
 利用者様一人一人に担当スタッフが配置されており、主としてその方の生活状況を把握してそれをもとに課題を見つける。継続するべき事、変更しなくてはいけない事、利用者様の变化などをその都度、またはカンファレンスにて全員に伝えることを継続してきました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	2	7	1	0	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	7	3	0	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		9	1	0	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	4	0	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即	6	4	0	0	10

時的に支援できていますか？					
---------------	--	--	--	--	--

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>日常生活の支援は排泄のパターンの把握や排便管理を行い個々の支援ができている。食事やその他の生活支援もそれぞれのペースを考えて行えている。以前の生活状況を把握することで日々の支援に活かす事ができている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>大きくできていない点はありませんでした。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>利用者様の気持ちや身体の変化に、誰もが即座に対応ができ必要な支援ができるように、起こりうる事柄を事前に想定して慌てず対応できるように日頃の話し合いを十分に行いたい。</p>	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 9 月 7 日 (19:30~22:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 中村、北島、山本、三宅、浜地  
濱口、亀田、中野、大田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	2人	0人	10人

前回の改善計画	地域の施設や資源についてスタッフ全員が把握できるように、マップや写真、資料を使って各地区の状況が把握できるように勉強会などを開催します。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域の社会資源は外に出向く事で確認できている。施設の資料として新しく入社したスタッフや利用時の説明に活用ができるように、資料としては集めているが勉強会の開催や実際のパンフレットの作成には至っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3	7	0	0	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	4	6	0	0	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	7	1	0	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	9	1	0	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

地域のイベントなどへの参加や実行委員として参加することや運営推進会議の場で民生委員や地元の代表の方との関係づくりの機会はある。また、福祉の啓発活動などで地域の高齢者や社会福祉協議会・民生委員・地区の世話役など関わりを持っている。介護相談員の定期的な訪問も地域の資源として施設の状況を見て頂き、助言を頂ける機会となっている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

スタッフ全員が地域の方と顔を合わせる機会を作れるわけではない。スタッフ全員がそういった機会を持つようにしたい。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

前回の目標の継続と、自宅での生活の状況がサービスを利用することで改善できたり、自分でできる事への支援を続け自宅での生活を継続していけるように具体的な計画をスタッフ全員参加で作成します。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 9 月 7 日 (19 : 30 ~ 22 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 中村、北島、山本、三宅、浜地  
濱口、亀田、中野、大田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	7 人	0 人	0 人	10 人

前回の改善計画	必要とされている支援を冷静に客観的に判断することができ、活かすことができる本人の能力を探し出すことができる。地域の資源を把握して、その方が地域で元気に生活するための支援の充実を図ります。
前回の改善計画に対する取組み結果	自分でできることが維持でき、生活に活かす事ができるように基本しっかり見守りを行う。自宅での生活の継続を直近の目標としそのために必要な支援をその都度提供していく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	8	0	0	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	9	1	0	0	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	7	3	0	0	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6	4	0	0	10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

自宅が中心の方は、買い物支援や自宅での緊急時の対応、同居の家族への相談支援など随時行えている。小さな事でも、・・・した方がいいのではないかと思う事を随時動けるようになっている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

大きくできていないと感じられる点はありませんでした。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

自立支援と自宅での生活の継続のために必要な支援を提供します。本人の持っている力をその生活の中で、活かせるような工夫をし、自立支援につなげていく。

事一⑤

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 9 月 7 日 (19 : 30 ~ 22 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 中村、北島、山本、三宅、浜地  
濱口、亀田、中野、大田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7人	3人	0人	0人	10人

前回の改善計画	地域に必要とされる施設を目指して、今後も地域貢献やオレンジ care マイスターの活動を通して地域の方との交流を図っていく。また、近隣だけではなく町内の各地域に出向く機会を増やしていきたい。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域のイベントへ利用者様も一緒に参加することを実践してきました。今までは訪れてくれることを前提に地域との関わりを考えていたが、今年からは、こちらから出向くことにも力を入れて、学童クラブやふれあい広場など交流の場を作っていました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	5	5	0	0	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	3	6	1	0	10
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	8	2	0	0	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2	6	2	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域の方との交流や学生との交流も計画している。その他のサービス機関とも随時連携や会議を持ち、地域の民生委員の方々や包括支援センターとも顔を合わせる機会がある。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
施設に訪れて頂ける工夫として、もっと考えられることはないか模索していきたい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
施設に気軽に来て頂くのはなかなか難しいが、行事を利用して地域の方や学校などに施設を知ってもらえる企画を考えていきたい。そのために地域の各団体や機関に積極的に出向いていく事を継続していく。	

事一⑥

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 9 月 7 日 (19 : 30 ~ 22 : 00)

7. 運営

メンバー 中村、北島、山本、三宅、浜地  
濱口、亀田、中野、大田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6 人	4 人	0 人	0 人	10 人

前回の改善計画	地域に必要とされる拠点という意味では、ハード面ではなく自分たちが持っている介護力や知識を地域の方に還元することができるように、ふたみならでの取組みを考えたい。
前回の改善計画に対する取組み結果	町内の高齢者や小学生などに福祉や認知症の事、施設の利用者とのふれあいを行ってきた。まだまだ施設全体での取組みといった面ではスタッフの個々の認識は違う中でも様々な面で協力体制や参加意欲が出てきている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	7	1	0	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	6	4	0	0	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	6	4	0	0	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	4	6	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>運営についてはスタッフは関係ないと思いがちであるため、カンファレンスを活用して地域の方の意見（良いことも悪いことも）を知ってもらい、苦情についても次に進むためのステップとして前向きに検討し改善策を考えています。各職員と管理者は年に2回個別で話しをする機会を作っている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>地域と協働した取り組みという点では、具体的な内容や取り組みができていません。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>各職員が運営に関すること自分から積極的に発信できる環境を整えていきます。また、地域と協働した取り組みについて、立案・計画・実行ができるように取り組んでいきます。</p>	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 9 月 7 日 (19:30~22:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 中村、北畠、山本、三宅、浜地  
濱口、亀田、中野、大田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7人	3人	0人	0人	10人

前回の改善計画.  
リスクマネジメントについて、スタッフは理解しているがリスクばかりに関心が集まると本来の関わりにスタッフの力を活かすことができないため、日々の過ごしの中でもっとスタッフの個性を引き出して、利用者様が楽しみを持って過ごせる工夫をしたうえで、一人一人が危機管理ができるようにしていきたい。

前回の改善計画に対する取組み結果  
職場内外の研修を可能な範囲で全スタッフが参加できるようにしています。危機管理は毎月の会議でも日々気が付いた時にでも話し合い、改善のための話し合いを行います。事故報告書は書いて終わりではなく書き方や考え方を徹底して伝えるようにしています。過ごしを考える上ではスタッフそれぞれが個性を出して、レクリエーションや行事の立案・実行を行うようにしました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	8	2	0	0	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	8	2	0	0	10
③	地域連絡会に参加していますか	3	5	2	0	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	7	3	0	0	10

--	--	--	--	--	--	--

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>会社全体で研修期間を設けており、スキルアップできる環境がある。それ以外でも社内外ともに参加できるようにしている。参加したスタッフは勉強会の場で資料の提供と伝達講習を行う。そのことで互いの知識を高めることができている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>大きくできていないことはありませんでした。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>研修については一年間全職員が交互に参加することができたが、非常勤のスタッフは参加の機会がないのが現実であるため、研修の機会を確保していきたい。リスクマネジメントについては毎日振り返ることで実感が増すため進めていきたい。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 9 月 7 日 (19 : 30 ~ 22 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 中村、北島、山本、三宅、浜地  
濱口、亀田、中野、大田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7人	3人	0人	0人	10人

前回の改善計画	身体拘束防止委員を設置されており、定期的な会議と見直しを行っている。その中で短期間での解除を目指すことが優先されるが、利用者様の安心安全を守るために、スタッフの危機管理能力の向上と意識の向上、利用者様の自立支援に向けて委員のスキルアップを図りたい。
前回の改善計画に対する取組み結果	身体拘束防止委員は現在2名で構成。今年はカンファレンスで全員で会議を行ってきた。身体拘束に該当する利用者様は解除となったが、状態によって緊急時の対応として行うこともあるためその毎月議題として挙げている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	4	6	0	0	10
②	虐待は行われていない	10	0	0	0	10
③	プライバシーが守られている	5	5	0	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	6	4	0	0	10

⑤	適正な個人情報の管理ができています	9	1	0	0	10
---	-------------------	---	---	---	---	----

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>安全と危険はいつも判断が難しく、身体拘束に当たる対応が常日頃の対応にも見受けれると思います「それは拘束にあたる」と言われてもその時に安全を優先する事もあります。そういったところも含めて、「今日の対応はどうだろう」「他にすべきことはなかったか」など毎日の振り返りと毎月の会議での検討を行っている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>大きくできていない点はありませんでした。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>身体拘束委員会の開催は今まで通り毎月のカンファレンス時に行うが、研修内容に工夫をし、もっとスタッフが理解しやすく実践につなげられるものにしていきます。危機管理を他人事と思わずに全員が意識できるように今までの実践を継続します。</p>	